

ウッドマイルズ研究会（平成21）2009年度 総会議事録

- 1 日 時 （平成21）2009年6月27日（土）9時30分から11時00分まで
- 2 場 所 A P浜松町Hルーム（東京都港区芝公園2-4-1ダヴィンチ芝パークB館地下1F）
- 3 出席者

池田 浩和	岡庭建設（株）統括リーダー
小口 もとこ	アトリエ森想人代表
神谷 義彦	神谷建築スタジオ代表
熊崎 実	日本木質ペレット協会会長
近藤 淳	（協）山梨県産材健康住宅研究会
近藤 勝	（有）北銘サポート代表取締役
白石 秀知	NPO法人京都・森と住まい百年の会事務局長
鈴木 直子	住工房なお（株）代表取締役
高橋 理恵	和温waonスタジオ代表
高見 定男	（株）田部
滝口 泰弘	ウッドマイルズ研究会事務局
田口 房国	（株）山共代表取締役
中尾 祐典	洛東工業代表
中桐 秀晴	山梨県森林総合研究所
中村 泰子	つくばスタイル木の家クラブ事務局長
二野宮 雅宏	新潟県農林水産部林政課
畠中 実	（有）アシスト代表取締役
藤村 直樹	木童東京事務所
藤本 昌也	（社）日本建築士会連合会会長
藤原 敬	（社）全国木材組合連合会常務理事
淵上 佑樹	京都府地球温暖化防止センター
三澤 文子	（有）MOK-msd代表
山村 いづみ	東京大学大学院
澤畠 雅俊	美幌町経済部耕地林務グループ主幹
森本 周子	（株）中島工務店関東社寺支店

出席者（26名）、表決委任者（61名）、合計（87名）

正会員総数（平成21年6月27日現在）136名の過半数超により、会則第14条にもとづき開会。

4 審議事項

- (1) 議長選任の件
- (2) 議事録署名人の選任の件
- (3) 2008年（平成20年）度事業報告及び収支決算について
- (4) 2009年（平成21年）度事業計画及び収支予算について
- (5) 役員を選任の件
- (6) その他

5 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 議長選任

- ・議長に、藤原敬が全会一致で選出された。

(2) 議事録署名人の選任

- ・議事録署名人に、神谷義彦、高橋理恵を選任したいとの提案があり、承認された。

(3) 2008年度事業報告及び収支決算について

- ・事務局より、2008年度事業報告（案）及び収支決算（案）について説明。（別途総会資料参照）
- ・2008年度の収支決算の監査結果について、監事より問題なしと報告された。（別途監査報告書有り）
- ・ウッドマイルズレポートの発行状況を把握したほうがいい（白石）。
- ・事業報告書に昨年度の総会報告も含める。理事会を行った時は記録を残していくといい（藤本）。
- ・山梨県の算出講習会は多数受講しているが、その後の経過はどうか？（藤原）。
- ・講習会後の進展はまだ無い。県や銀行等、行政に動いてもらわないと制度化できないが、まだ動きが無い状態である。中央政治の動きはいかがか？（中桐）。
- ・住木センターの理事長や京都府知事も研究会の顧問ではある。京都府知事は林野庁にも足を運びウッドマイルズを重要な政策とすべきと要請したが輸入材への配慮などもあまり良い返事ではなかった。勿論反対ではない。ウッドマイルズについては森林・林業白書にも掲載された。昨年度から始まった林野庁の「CO2の見える化検討会」への研究会の参加が大変大きな前進である（藤原）。
- ・木のまち木の家推進フォーラムで、石破大臣がワンストップサービスを提唱していたが、実際のエンドユーザーとの接点は設計者・工務店であるので、このシステムはいささか疑問である。国交省の長期優良住宅の無料講習会では、3億円の予算が投じられており、このような普及事業にウッドマイルズを入れてもらったり、国の低炭素化の手法として明確に位置づけてもらう等、よりストレートな関係を行政とつくつたらいい（藤本）。
- ・国は今膨大な予算を用意しているが、公益法人改革により社団法人への委託が駄目になり、民間に直接行くようになってきている。建築基本法関連の「質の高い建築」に関する委託事業も行われている。このようなものにもウッドマイルズとして挑戦するといい（藤本）。
- ・現在行っている長期優良住宅の補助事業では、ウッドマイルズを計算できないと補助が下りないという仕組みでやっている。そうすると自動的に算出技術者の認定も必要となる。という仕組みを作ればいい（三澤）。
- ・地域材の普及においては、ウッドマイルズだけではなく、製材品のクオリティーも依然として課題である（中桐、藤原）。
- ・以上の議論を経て、事業報告書に昨年度の総会報告を加えることにて、2008年度の事業報告並びに収支決算について、全会一致で可決された。

(4) 2009年度事業計画及び収支予算について

- ・事務局より、2009年度事業計画（案）及び収支予算（案）について説明。（別途総会資料参照）
- ・会費を集めるのは他の団体でも同様にたいへんであるが、うまく会費を集められるようになるといい（藤本）。
- ・算出講習会は安すぎるのでは？（三澤）。
- ・事務局費は正当な金額を充当すべき（近藤）。
- ・会費収入だけで運営するのは難しいので、国の委託事業（調査など）等の事業費も利用するのが賢明である。国は予算が余っている（熊崎）。

- ・ウッドマイルズ算出に際しては流通の把握が鍵となるが、林野庁の「CO2の見える化検討会」ではどのように把握しているか？（ 現在研究機関に調査が委託されている：藤原）また研究会が今持っているデータが、今後の事業化に繋がる可能性もある（中桐）。
- ・全建連では国産材を使え！となっているが、このメリット自体を工務店が把握していないので、今後は国産材反対派も出てくるだろう。国産材利用のメリットを、設計者や工務店がもっと簡単に施主に伝えることが出来るツールが欲しい。15分くらいの普及用DVDや、講習会システムを作って講師を派遣するなど（藤本）。
- ・子供や小学生など向けの普及資料も作るという（白石）。
- ・研究会のNPO法人化への道はあるのか？（白石）
- ・一般社団法人はハードルが低い。ペレット協会でも今検討している（熊崎）。
- ・NPO法人、一般社団法人など、次のステップへ向けて、今後詳細を調べる（事務局）。
- ・以上の議論を経て、普及ツール、組織体制等を引き続き検討していくことにて、2009年度の事業計画並びに収支予算について、全会一致で可決された。

(5) 役員の選任

事務局より、2009年度役員の選任について、提案を以下の通り提出し、全会一致で可決された。

会 長	藤本 昌也	社団法人日本建築士会連合会会長
代表運営委員	藤原 敬	社団法人全国木材組合連合会常務理事
運営委員	白石 秀知	NPO法人京都・森と住まい百年の会事務局長
運営委員	野池 政宏	住まいと環境社代表
運営委員	三澤 文子	有限会社MOK - m s d代表
運営委員	相馬 秀二	財団法人下川町ふるさと開発振興公社クラスター推進部次長
運営委員	松下 修	松下生活研究所代表
監 事	辻 充孝	岐阜県立森林文化アカデミー講師
監 事	中村 泰子	「つくばスタイル」木の家クラブ事務局長

(6) その他

事務局より、以下の2点について、提案および報告があり、全会一致で承認された。

- ・ウッドマイルズ研究会会則の変更について

(旧) 第1条の2 / この研究会の事務局を、岐阜県美濃市2275番地1に置く。

(新) 第1条の2 / この研究会の事務局を、神奈川県川崎市内に置く。

- ・ウッドマイルズ研究会規定002「ウッドマイルズ関連指標算出技術者の認定」の変更について

(旧) 2 . 算出技術者の認定条件(2) 正会員法人に属する個人は、一法人につき6名までとする。ただし、法人を離れた場合は認定を取り消す。

(新) 2 . 算出技術者の認定条件(2) 正会員法人に属する個人は、一法人につき6名までとする。ただし、法人を離れた場合は認定を取り消す。6名を越える場合は、1名につき5,000円の分担金を設け、法人年会費納入時に必要な分担金を加算のうえ支払う。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成21年6月27日

議 長	藤 原 敬	印
議事録署名人	神 谷 義 彦	印
議事録署名人	高 橋 理 恵	印